

2011年のスウェーデン・マルメ 研修で学んだことの、確認と検証、そしてさらなる発展を目的に参加させていただきました。そして今回は、歯科医師となって4年の娘と参加させていただいたことも、私にとっては嬉しいことでした。

講演内容は、カリエスのリスク評価、カリエスの進行速度と介入の時期、深いカリエスに対する処置（Stepwise excavation など）、MI 歯科医療、薬剤と疾患の関係、Tooth Wear、歯周炎のリスク評価、ナショナルガイドライン、サリバテストの分析、遺伝とカリエス発生の関係、インプラント周囲炎、キャピテーションシステム、スウェーデンの歯科衛生士などがありました。

「虫歯にならないためには、何をすべきか？ なった時には、いつの時期に治療をすべきか？」本当に基本的なことですが、スウェーデンの予防哲学を学んだ、歯科医師、歯科衛生士によるベストなアプローチが、「一生自分の歯で食べる」ことを願う患者さんために、とても大切なことであることを改めて感じました。そして、2014年マルメ参加の歯科衛生士をはじめとする、われわれすべてのスタッフと、チーム医療を今後も取り組んでいきたいと思えます。

また、日々の講演の後の、日本での予防歯科医療のトップランナーである多くの先生との、夕食をしながらのディスカッションも有意義な時間でした。

通訳をしてくださった、西先生、岩上さん、はじめ、お世話くださいました先生、スタッフの皆さま、ありがとうございました。そして、なによりもこのような機会をつくっていただきました、熊谷崇先生に感謝いたします。